

スキルアップ研修会 BEMS設置工組で実施



埼玉電気会館の省エネを学ぶ取り組み

埼玉県電気工事工業組合(沼尻芳治理事長)は、7月18日に「スキルアップ研修会」を開催した。

今回の研修は、第1ステップとして、主に省エネEEMSは、パナソニックのエネルギーマネジメントソリューション「エナネージ」。エネルギーの使用状況を把握して、計測データの分析・診断により、どこでどのくらい電力を使っているかを明確にして、運用改善、省エネを実現するものだ。

研修会、省エネルギーの取り組みを知ることも、同組の省エネルギーへの取り組みを知ることも目的だ。同組に設置されたBEMSは、パナソニックのエネルギーマネジメントソリューション「エナネージ」。エネルギーの使用状況を把握して、計測データの分析・診断により、どこでどのくらい電力を使っているかを明確にして、運用改善、省エネを実現するものだ。



屋上に設置された設備を見学

はじめに、エナネージの基礎知識として国の施策や取り組み、省エネ支援策を紹介。エネルギー管理や新電力の基礎知識、顧客とのコミュニケーションの重要性なども説明された。その後、同組におけた省エネルギーの取り組みについて説明。設置した設備の概要と取り組みに開催される予定だ。

省エネ実現へ運用改善を図る

この研修会は、埼玉県電工組が実施したスキルアップ研修会と同様のプログラムで、6月に第1組(青野理事長)は、7月6日にエナネージ研修会を開催した。

7月の暑い時期に開催することで、高負荷時のデータ収集・運轉の改善を目的としている。はじめに、同組に設置されたBEMS(エナネージ)についての解説やエネルギーデータの分析方法を座学で学んだ。

続いて、同組会館の運用改善提案の検討を行うため、少人数のグループに別れて館内をくまなく回り検討すべき箇所を探る現場調査を実施。様々な場所において、どのような改善ポイントがあるか意見を出し合いながら移動した後、講師による計測データの見方とグラフの説明を受けながら



会館内の課題と思われる箇所を探る

グループディスカッションを行った。最後に、パナソニックグループごとのディスカッションでは、講師に社から、照明、空調などの最新設備の情報、便利なデジタルツールの紹介を学び、その後、班ごとに討議結果の発表と講師



運用改善のポイントを学び意見交換

電気設備工事積算実務マニュアル 適正な工事費の算出に「利用を

全日出版社が発売して、必要です。ホームページには、最新情報やお知らせなど掲載されているので、こまめに参照してください。

また、姉妹誌として機械設備工事積算実務マニュアル平成29年度版、建築工事積算実務マニュアル平成29年度版も発売しています。



全日出版社

お申込みは所属工組へ

2018 電気工事手帳

電気工事業者必携の手帳

技術・認証 委員会監修

全日電工連は、「2018 電気工事手帳」の申し込み受付を開始しました。この手帳は、全日電工連技術・認証委員会監修のもとで制作が進められ、本年も最新のデータを取り入れて内容の充実を図っています。

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

LEDユニット 交換形ダウンライト

LED光源ユニットの交換が可能で消費効率を高めた新方式ダウンライト。



LEDユニットの交換により、光色や明るさを手軽に変更。

80機種のLEDユニットと、69機種の器具本体。豊富なラインアップで幅広い用途に対応。

東芝ライテック株式会社 <http://www.tlt.co.jp/>